

## ◆ 会員紹介 27 (特非) シビルまちづくりステーション ～地域を知り、災害を知って、何をすべきか考えよう～

### ■ 沿革と活動

当 NPO は平成 14 年 11 月に“IT ステーション「市民と建設」”の名称で設立し、平成 15 年 11 月に内閣府より特定非営利活動法人として認証されました。平成 22 年 6 月に現在の名称の「NPO 法人シビルまちづくりステーション」に変更しました。 主に行っている活動は次の通りです。

①市民参加・市民協働によるまちづくりと連携の推進・支援、 ②緑化・芝生化の推進、③出前講座・講演・指導、 ④災害・防災支援と活動。

次に、④の防災に関係した、活動内容を紹介します。「東日本大震災」以降に当 NPO 内において「液状化対策プロジェクト」等を設置し、活動を行っています

### ■ 防災活動

プロジェクトは平成 23 年 12 月に設立し、活動のモデル地域として「船橋市」を設定し、平成 25 年度の「船橋市市民公益活動公募型支援事業」に応募し、採択されました。

この事業では、液状化現象を広く一般の方々に認識いただくようにパンフレットの作成・配布を行い広報に努めました。また、市民の方々を対象にした「地震防災フォーラム in 船橋」や「地震防災セミナー」を市民センターや公民館で開催しました。なお、フォーラム・セミナーの評判がよくその内容を小冊子にまとめ災害対策に活かせるようにしました。また、液状化模擬試験器を制作しフォーラム等で実演を行い、理解を深めていただきました。

平成 26 年度には、船橋市の液状化実態調査を行いました。被害は当初、湾岸埋立地に限定していると考えていましたが、市の内陸部（低湿地部）でも湾岸部と同数発生していました。つぎに、液状化ハザードマップと被災箇所を重ね合わせると旧地形の低湿地部を考慮すると非常危険箇所と発生箇所が良く一致することが判りました。

平成 27 年度には、異常気象等による自然災害の問題に取り組み、「土砂災害から身をまもるに関する広報等」が液状化と同様に「船橋市公益支援事業」に採択され、「中・高生による夏の体験学習」や「セミナー」を開催し、市民の方々から防災に関する貴重な意見等を頂いています。

来年度以降にも「防災等」の課題に取り組んでいく予定です

### (特非) シビルまちづくりステーション

理事長 花村 義久 事務局長 比奈地 信雄  
URL <http://www.itstation.jp>



船橋 in フォーラム



液状化模擬試験実演



中・高生の現場体験学習



中・高生の体験学習



土砂災害セミナー意見交換会